令和８年度　美里町　全国学力・学習状況調査

【教科に関する調査結果から】

	小学校　国語	小学校　算数	中学校　国語	中学校　数学	中学校 英語(4技能)
全国平均	60．9%	56．4%	63．9%	57．0%	499
埼玉県平均	63　%	57　%	66　%	59　%	507
本町平均	64　%	61　%	63　%	60　%	460

〇よい傾向のもの　　▲改善の必要があるもの⇒改善案

	小学校	中学校
国語	〇文章の構成や内容を捉えること 〇自分の経験と結び付けて考えること	〇言葉の意味を捉えること 〇交流を基に文章のよさと改善点を考えること
	▲文章と資料の関係、筆者の考えと理由・事例の関係を捉えることや、条件に沿って情報を引用し、自分の考えを書くこと ⇒段落や資料の役割を確かめ、根拠となる箇所を示しながら読み取ったことを説明する。読む活動と書く活動を結び付け、引用の仕方や条件を満たした書き方を指導する。	▲ 話合いで示された意見を踏まえ、自分の考えを書くこと ⇒相手の意見の要点を確かめたうえで、それに対する自分の考えと理由を述べたり書いたりする活動を設ける。 ▲文脈に即して語句が表す様子や表現の効果を説明することに課題がある。 ⇒読み取った内容や筆者の考えに対して、自分の解釈や考えを書く活動を行う。
算数 数学	〇体積の基本的な求め方 〇グラフから必要な情報を読み取ること	〇反比例の表を読むこと 〇筋道を立てて証明すること
	▲割合や単位量当たりの大きさについて、二つの数量の関係を捉え、式の意味や求め方を説明すること ⇒図や数直線、言葉の式を用いて数量の関係を表し、「何をもとに、何を求めているか」を説明する活動を重ねる。	▲図から平行になるための条件を見いだすことや、証明に必要な仮定を特定すること ⇒図に分かっている条件を書き込み、「どの条件から何が言えるか」を指し示す、言葉で説明する、式や証明に表すという順に考えをつなぐ。
英語		〇対話の内容を捉えること 〇交流会でしたいこととその理由を扱うこと
		▲短い英文の概要を捉えること ▲自分の考えと理由を英語で話すこと ⇒段落ごとの中心となる内容を捉える活動と、身近な話題について簡単な英語で考えと理由を話す活動を、授業の中で継続する。
児童生徒に対する質問紙調査から	〇話合いを通して考えを深めていること 〇粘り強く取り組むこと 〇自分と違う意見について考えること	〇自分で学び方を工夫すること 〇学んだことを次の学習や実生活に結び付けること
	▲教科への苦手意識や、睡眠などの生活習慣について、学校ごとに課題が見られる。 ⇒各校の結果に応じて、学習の伸びを児童が実感できる振り返りや、家庭と連携した生活習慣づくりを進める。	▲人と違う意見を言っても否定されないと思うこと ⇒異なる意見を受け止め、理由を尋ね合う話合いを授業で積み重ね、安心して考えを表出できる学級づくりにつなげる。

町から

小学校では、国語・算数ともに３校の平均正答数が全国及び県平均を上回った。一方、国語では根拠となる情報を関連付けて読み、条件に沿って書くこと、算数では数量の関係を捉えて式の意味を説明することに課題が見られる。中学校では、各教科に強みのある設問が見られる一方、相手の意見を踏まえて考えを表すこと、図形の条件を根拠として示すこと、英語で概要を捉えたり理由を添えて話したりすることが課題となった。

各校のよさを生かしながら、授業では「根拠を見付ける・関係を捉える・自分の言葉で説明する」過程を大切にしていく。児童生徒の解答や発言からつまずきを見取り、教科や学年で指導方法を共有するとともに、学力の伸びを本人が実感できる機会を設けていく。